

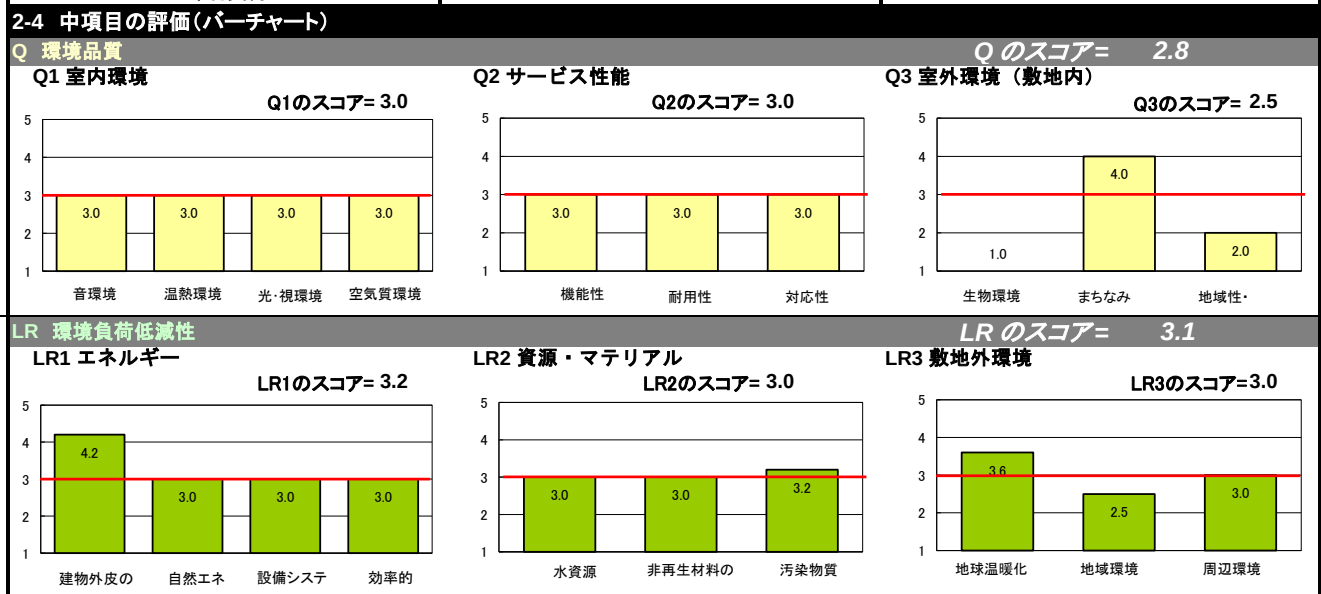
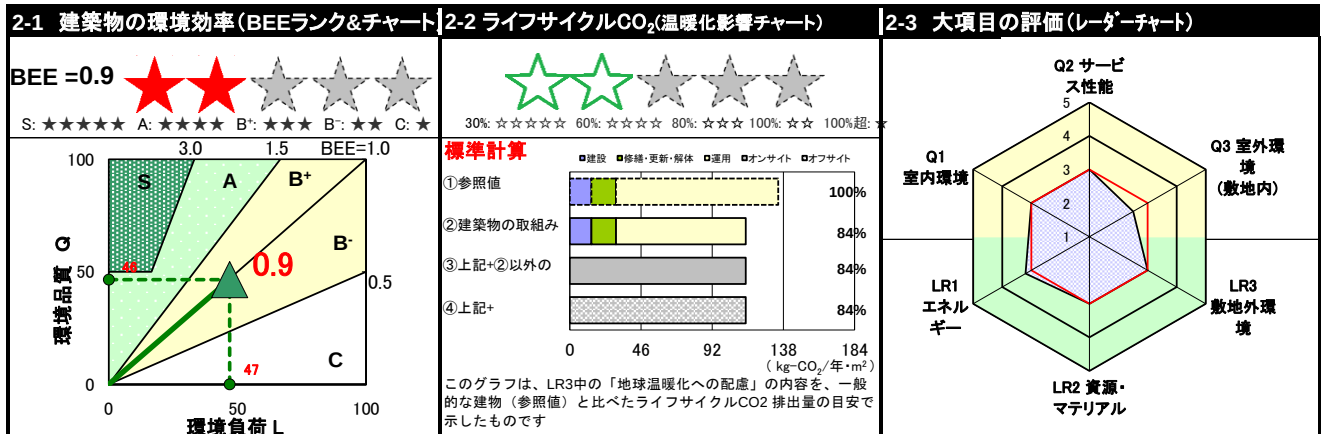
CASBEE®広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

[使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)]

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	放射線影響研究所・広島大学合築	階数	地上10F
建設地	広島県広島市南区霞一丁目2番10	構造	SRC造
用途地域	第一種住居地域(一部近隣商業地域)	平均居住人員	319 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,200 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,学校,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2025年2月14日
敷地面積	142,646 m ²	作成者	奥谷 望
建築面積	905 m ²	確認日	2025年2月14日
延床面積	7,788 m ²	確認者	奥谷 望



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア = 2.9		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.2	スコア = 1.6	スコア = 3.0
設計の計画段階に配慮した事項 /// 高効率機器を採用しBEE値の向上に配慮した。/// ライフサイクルコストCO ₂ 排出量が参照値の80%程度	設計の計画段階に配慮した事項	設計の計画段階に配慮した事項

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される